

## 2021年度 独創的研究助成費 実績報告書

2022年3月31日

報告者	学科名	工芸工業デザイン	職名	准教授	氏名	石 王美
研究課題	高齢者・障害者向けのパーソナルモビリティの視覚情報デザイン研究					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	石 王美		工芸工業デザイン学 科・准教授	コンテンツ・イ ンタラクショ ンデザイン	研究の責任者
	分担者					
研究実績 の概要	<p>高齢者・障害者のパーソナルモビリティの社会的な活用について —コントロールとしてモバイルウォッチの可能性調査</p> <p><b>研究の概要</b>          高齢者・障害者におけるモビリティ機器の大事な機能と言えれば安全に目的地まで移動できることである。しかし移動中は予想できない様々なシチュエーションが行われる。例えば座った状態で移動するタイプは日本の道路交通法では歩行者としての扱いとなり、歩道での走行が可能であるが、衝突事故の可能性がある。また体がそのまま露出されたタイプのデザインが多くて自然環境（雨、風、寒さ）によって運行に影響もある。</p> <p>2021 基準販売されている電動車椅子 30 個を調べた結果、荷物を入れる空間を提供したり、折り畳めたり、モビリティを中心にされたことが多かった。彼らが移動する際起きれる様々なシチュエーションに対してコミュニケーションを支援する視覚システムを提案することでより良い移動環境を提供することを目指す。</p> <p>今年はその第一歩で視覚システムのコントロールの案としてアップルウォッチを含めアンドロイドウォッチを用いてユーザー調査を実施した。</p> <p>研究の対象が高齢者と障害者であり、コロナ19の影響で多い人数むけのテストまで実施することは出来てなかったんですが、70代の元気な高齢者3人にアップルウォッチの使い方と活用についていいフィードバックを得ることができた。</p> <p>しかし、目標の結果まで進行することが出来ず残りの研究費を返却する。          来年人数を増やして、ユーザ調査、実験を実施する予定である。</p>					
成果資料目録						